

産業建設委員会記録	
開 会 年 月 日	令和 5 年11月20日
開 会 時 刻	午前 9 時57分
閉 会 時 刻	午前11時33分
出 席 委 員 名	◎野崎隆太 ○野口佳子 三野泰嗣 井村貴志
	上村和生 北村 勝 吉井詩子 宿 典泰
	品川幸久 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	三野泰嗣 井村貴志
担 当 書 記	森田晃司
審 査 案 件	継続調査案件 所管事業の令和 5 年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について
	答弁の訂正（閉会後に再度開会して答弁を訂正）
説 明 員	都市整備部長、都市整備部次長、都市整備部参事、基盤整備課長、
	住宅政策課長、産業観光部長、産業観光部理事、商工労政課長、
	農林水産課長、情報戦略局長、情報戦略局次長、財政課長、
	その他関係参与

審査経過

野崎委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に三野委員、井村委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、継続調査となっている「所管事業の令和５年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」を議題とし、当局から報告を受け、今回で調査を終了することを決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前９時５７分

◎野崎隆太委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者２名は、委員長において、三野委員、井村委員の御兩名を指名いたします。

本日の案件は、継続調査となっております「所管事業の令和５年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」であります。

議事の進め方については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【所管事業の令和５年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について】

◎野崎隆太委員長

それでは、「所管事業の令和５年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」御審査願います。

当局の説明をお願いします。

財政課長。

●太田財政課長

それでは、「所管事業の令和５年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」御説明申し上げます。

資料１を御覧ください。

このたび御説明申し上げます予算の執行状況等は、各常任委員会から御指示のありました１６事業について作成をしたものでございます。産業建設委員会所管分の執行状況については、１２ページから１６ページに掲載の５事業が該当します。

それでは、１２ページをお開きください。

まず、様式について御説明いたします。

上段に事業目的を記載しております。

事業内容の欄には、当初予算編成時に想定した内容、計画等を、進捗状況の欄には、特に断りがないものについては本年11月1日時点における予算執行上の現状を、事業を取り巻く状況等の欄には、事業執行に伴い生じた課題、問題点、今後の展望など、現状分析を行っております。

また、下段の事業費欄に現計予算額等を記してございますが、執行済額は9月末時点での支出負担行為済額を記載しております。

それでは、各事業の概略について御説明いたします。

まず、競争力強化チャレンジ応援事業です。

本事業は、市内産農産物の認知度の向上、生産量の増加、品質向上、高付加価値など、これまでの取組に加え、農業と福祉が連携した農福連携による特区の認定登録など競争力の強化にチャレンジする取組を支援するものでございます。

執行状況としましては、横輪芋の6次産業化について明野高校と共同で取り組み、商品が完成をいたしました。また、付加価値の向上支援について、2件の交付決定を行っております。

今後は、三重大学との連携による調査、分析を踏まえ、より効果的な支援、検討のほか、ふるさと納税の返礼品への登録なども進めてまいりたいと考えております。

次に、13ページ、安全安心な観光地づくり推進事業です。

本事業は、感染症や自然災害への対策、多言語対応など、安全安心に伊勢市の観光を楽しむ環境の整備を推進するものでございます。

執行状況としましては、6月の大雨により内宮エリアを中心とした浸水被害を受け、危険箇所の確認、側溝清掃、水のうの設置研修を地域で実施いたしました。

また、観光事業者からの依頼等により、アドバイザーを派遣する観光アドバイザー派遣事業については、9月末までに利用がない状況となっております。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症に関する安全安心な受入れ対策を中心に実施してまいりましたが、今後は式年遷宮に向けた観光客の増加に対する受入れ環境の整備へのシフトが求められています。

次に、14ページ、岡本吹上線改良事業です。

本事業は、都市景観の向上及び災害に強いまちづくりを進めるため、宇治山田駅前の道路、岡本吹上線の電線の地中化を行うものでございます。

執行状況としましては、5月に詳細設計業務の契約を行いました。また、8月には国から無電柱化推進事業費補助金の交付決定を受けております。物価高騰の影響により工事費の増加が予測されることから、低コスト手法の検討を行うとともに、工事に当たって、駅の利用者への影響についても検討を行ってまいります。

次に、15ページ、集まれこどもたち公園整備事業です。

本事業は、大仏山公園にインクルーシブ遊具を含む新たな遊具を設置し、誰もが一緒に遊び、多くの方が訪れる交流の拠点となる公園整備を行うものでございます。

執行状況としましては、6月に測量、詳細設計の業務委託契約を締結しました。また、小学校におけるインクルーシブ授業の実施、市民団体との座談会、遊具設置に関するアンケートを実施し、公園整備に関する御意見を伺ったところでございます。

今後は、お伺いした意見を基にした遊具の選定を行い、誰もが一緒に遊び、多くの人が

交流できる公園となるよう整備を進めてまいります。

次に、16ページ、住宅・空家リフォーム促進事業です。

本事業は、自らの居住に関する住宅及び空き家の機能回復、改善を図るリフォームに支援を行うものでございます。

執行状況としましては、空家リフォーム促進事業補助金では6件の交付決定を、住宅リフォーム促進事業補助金では206件の交付決定を行いました。なお、住宅リフォーム促進事業補助金については、申請額が予定額に達したため受付を終了しております。

今後は、空き家の利活用をさらに促進するための方策の検討及び補助申請のデジタル化に向けた準備を進めてまいります。

以上、産業建設委員会所管事業の令和5年度進捗状況及び予算の執行状況等について概略を御説明申し上げました。よろしくお願い申し上げます。以上です。

◎野崎隆太委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありませんか。

三野委員。

○三野泰嗣委員

すみません、おはようございます。よろしくお願いします。

12ページの競争力強化チャレンジ応援事業のほうで、ちょっと少し、簡単にちょっと1点だけ伺わせていただこうかと思えます。

真ん中あたりに進捗状況とあるんですけれども、伊勢ワイナリー株式会社さんにワイン製造機械一式100万円と認定農業者さんにイチゴ果肉氷製造機械一式100万円とあるんですけれども、ワイン製造機械というのは大体分かるんですけれども、イチゴ果肉氷製造機械というのをちょっと、どのようなものかなというのを、そのあたりをもうちょっと詳しく説明いただけますでしょうか。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

ただいまの質問にお答えいたします。

これは、イチゴの果肉氷菓子ということで、いわゆるシャーベットでございます。イチゴといいますと今の時期から春ぐらいにかけて取れるものなんですけれども、そうしますと夏頃には所得がないんですけれども、そこへ今取れたものを冷凍しておいて、夏にそれをシャーベットとして売り出すことで所得の平準化といいますか、1年中所得があるように考えるというふうな効果があるというふうに考えております。以上です。

◎野崎隆太委員長

三野委員。

○三野泰嗣委員

ありがとうございます。この1年中取れる形でという導入なんですけれど、この機械によって期待される効果とか、何かあれば教えていただけますでしょうか。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

今申し上げたほかの効果といたしましては、イチゴ、市に出せないような小さな粒とかちょっと傷のついたようなものでもシャーベットとして砕いてしまえば活用できるということで付加価値が高められるというふうに効果があると考えております。以上です。

◎野崎隆太委員長

三野委員。

○三野泰嗣委員

ありがとうございます。いろいろ付加価値もつけていけるということで、今回新たにワイン特区のこういった農福連携によるワイン製造の加工品にも補助していただいていますので、これからも地域のブランドをより一層際立てるような手助けができることを期待しておりますので、よろしくお願いします。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はありませんか。

上村委員。

○上村和生委員

14ページ、それから15ページの、それぞれ気になったのが岡本吹上線改良事業、それから集まれこどもたち公園整備事業、共にですけれども、工事関係の部分については、物価高騰の影響で工事費の増加が予測されるためというような文言が両方とも入っておるわけでありまして。まず、岡本吹上線改良事業の部分で、低コスト手法の活用や既設埋設物の支障移設を最小限に図るというようなことで書いていただいておりますけれども、実際にどういうことをしてこの岡本線のほうはコストを削減していこうとしておるのか、ちょっと教えてください。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

御質問にお答えさせていただきます。

岡本吹上線のコスト縮減、手法の活用の内容ですけれども、今詳細設計を行っております。

すけれども、その手法といたしましては、極力共同溝の埋設深さを浅くすることによって土工等のコストを抑えるというようなことを今検討しております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
上村委員。

○上村和生委員
埋設物をあまり深く、浅く入れていこうということだというふうに思うんですけれども、その辺、耐震とかその辺には影響はないんでしょうか。その辺、ちょっと教えてください。

◎野崎隆太委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長
埋設するコンクリートの箱のボックスカルバートですけれども、そのあたりも耐震性のあるものを使用して、耐震性には対応できるように考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
上村委員。

○上村和生委員
分かりました。いろんな手法で抑えるというのは分かりました。
今、物価高騰ということで、本当に大変な状況になっているというようなことも聞かせていただいています。今後、これまだ詳細設計の段階だと思うんですけれども、今後、今まで見込んでおった総事業費ってあると思うんですけれども、それよりやっぱり上がってしまう可能性があるということなんでしょうか。その辺、どう考えてみえるんでしょうか。

◎野崎隆太委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長
今現在コスト縮減に設計等で努めておるところですけれども、やはり物価の高騰というのは、人件費、材料費含めて今上がっておる状況でございますので、上がり幅を極力抑えるような検討を今後もしてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
上村委員。

○上村和生委員

ありがとうございます。

そうしたら、もう一つの事業、集まれこどもたち公園整備事業の部分でもいろいろ効果的かつ経済的な整備を行うというふうにされております。その辺の部分、ちょっと教えてください。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

整備の中で、遊具の配置等も含めまして、極力工事費を抑えるような内容を行いたいと考えますとともに、遊具につきましても、メンテナンス的なものも含めまして、ライフサイクルコストのほうも縮減できるようなことも検討してまいりたいと考えております。

○上村和生委員

分かりました。ありがとうございました。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はありませんか。

吉井委員。

○吉井詩子委員

すみません、今、上村委員のほうからもお話がありました物価高騰の影響でということと岡本吹上線改良事業と集まれこどもたち公園整備事業のところで出ておりますが、具体的にもし分かれば、どれぐらい、何割ぐらい、基準となる年があるのであれば、そういう年からどれぐらい上がっていったって、またこういう道路工事と、また公園の整備でどれぐらいの影響があるのかということをお示しいただきたいと思えます。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

物価の高騰に関する御質問の回答をさせていただきます。

国土交通省のほうで2015年、平成27年度を100とした指標が公表されております。その中で、土木工事としましては2015年と比べましてプラス18.9ポイント、公園工事につきましてはプラス13.7%の物価上昇、すみません、2022年度の数字でございますけれども、上昇しておるという状況でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

分かりました。上村委員がおっしゃったように、また工夫等もしていただきたいと思います。また、これから人件費等の、いろいろ上がってくるとか、そういうこともあるかと思いますが、その点についてもまた留意していただきたいと思います。

それから、15ページ、集まれこどもたち公園整備事業なんですが、ふるさと納税型クラウドファンディングを令和5年10月6日から令和6年1月3日、まだちょっと始まったばかりだと思うんですが、現在の状況はどのようになっていますか。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

10月6日からクラウドファンディングのほうを始めさせていただいております。先週金曜日、17日の状況でございますけれども、約19万円の御寄附を頂いておるところでございます。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

昨年度は企業型のほうで多額の御寄附も頂いたというように認識しておりますが、今年度もその企業型のほうで推進をしていくというお考えはありますか。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

今年度も企業版ふるさと納税のほうも、まだ御寄附いただけてはおりませんけれども、企業さん等を訪問なり、お話しさせていただいて、ふるさと納税のほうを募っていきたいと考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

それから、小学校でインクルーシブの授業も実施されているということですが、ここで得られた子供たちの意見の反映というものは、具体的に目に見える形でどのようになっていますか。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

昨年度から大仏山公園の整備に当たりまして、近隣の小学校でございます明野小学校と小俣小学校の児童の皆さんに御意見をいただいたところでございます。なかなか全ての御意見を、全て取り入れるわけではございませんけれども、意見を参考にしまして、今回アンケートで遊具を決定しました内容の中に子供たちの意見を取り入れているところでございます。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

子供たちの意見を聞いたということで、大変価値のあることだと思いますので、そこら辺を市としてもアピールしていただきたいし、また目に見える形でも、公園ができたときにも分かるようにもしていただきたいと思います。また、子供たちが公園整備に関わりができるように、途中の見学会などもまた企画していただきたいなと思います。

この県のほうの、みえ子ども・子育て応援総合補助金なんですが、これは子供、子育てということで、いろんな目的に使える補助金だと思うんですが、その中でもこの公園に充てていただいたということで、大変この事業が注目をされていて、大切な事業であると思いますので、今後もこのつくって終わりではなく、様々、子供たちに役に立つように事業のほうをまた考えていただきたいと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

小学校の子供たちの関係でございますもので、教育部門の方、またインクルーシブということで福祉部門の方、あわせて公園整備部署と連携しながら進めていきたいと考えております。

また、公園の利用者に関しましても声を聞く等これから行っていきたいと考えておりますので、今後の公園整備に生かしていきたいと考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

分かりました。ありがとうございます。

続いて、16ページの住宅・空家リフォーム促進事業についてお聞きしたいと思います。

この事業の予算のときにお聞きしたのは、目的として転出を防ぐのが狙いというふうに

記述があったと思うんですが、この狙いは今のところどうでしょうか。

◎野崎隆太委員長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

実績のほう、ただいま6件上がっております。このうち、子育て世帯の中、3件の中に2件の移住の方がみえます。そのほかの方は市内在住の方ですので、一定程度の効果はあったのかなというふうに考えております。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

2件の方が移住をされたということで、その方々はこちらで仕事もしていただいているのかなとか、そういう点で、ほかの課との連携とか、そういうことはうまいこといっていますか。

◎野崎隆太委員長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

すみません、お仕事先まではちょっと把握をしておりますので、お答えは致しかねます。以上です。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

せっかくこの事業をきっかけで移住をしていただいたわけですから、その方たちを支えることができるようにまたしていただきたいなと思います。

住宅リフォーム促進事業の補助金なんですが、もう9月5日に予算額に達したため受付を終了したと記述があります。これ、予算のときも指摘いたしましたが、大変人気のある事業であると思います。去年はちなみに何月に終了したんでしょうか。

◎野崎隆太委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

昨年度につきましては、当初、昨年度の、令和4年度のことになりますけれども、当初

予算で1,800万円計上させていただきまして、そのときに、5月早々に予算に達する見込みであったため急遽900万円補正させていただきまして、総額2,700万円、その予算額の中で、昨年につきましては8月1日の時点で予算に達して受付を終了させていただいたという状況でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

今も御答弁にありましたように、補正も行ったということなのですが、今回もかなり人気があったということなのですが、その辺、補正とか考えていらっしゃるのでしょうか。

◎野崎隆太委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

昨年度、先ほど申し上げましたように、当初1,800万円で計上させていただきました。今年度につきましては、空き家リフォームの促進、こちらのほうとも合わせまして予算額2,000万円というところで計上させていただいたところでございます。内訳としましては、それぞれの事業で1,000万円ずつというところで、ちょっと内部でもいろいろ検討はさせていただいたんですけれども、今年度につきましては増額補正なしで、一旦9月5日の時点で受付を終了させていただいた、こういう状況でございます。

◎野崎隆太委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

住宅リフォームのほうは、昨年度と補助金の額も変わっているということで、そういう変化もあったということもあると思いますので、また来年度どうするかということについては、この事業の成果を見てまた御検討願いたいと思います。ありがとうございます。以上です。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

皆さんと重複しないようにちょっと質問させていただきたいと思うんですけれども、岡本吹上線改良事業なんですけど、以前にも申し上げたと思うんですけれども、伊勢市としての全体計画というのか、なかなか見えてこないです。その決定というのはどういうふうに

して順序立ててやられておるのか、ちょっとそこら辺から教えてください。

◎野崎隆太委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

無電柱化の推進事業でございますけれども、こちらのほうにつきましては、国の推進計画を基に現在三重県のほうが推進計画を立てて行っております。そちらの中で、外宮周辺の道路の無電柱化ということで、三重県さんと併せまして行わせていただいております。伊勢市のほうで計画のほうは今現在ございませんけれども、三重県のほうが南島線を中心に現在行っておりますもので、そちらに併せまして現在宇治山田駅前を整備させていただいておるところでございます。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

私のお聞きしたいのは、結果的には国県が方針を決めてということはよく今の話で分かるんですけれども、実際には伊勢市のまちづくりに関係する話だと思うので、伊勢市としてはこういうところを重点的に地中化をするということを示したというような話というのはあまり聞こえてこないものですから、外宮周辺やら南島線と言いますけれども、どのあたりを優先的に改良してまちづくりとしていくかということがあまり見えてこないで、それで以前も全体計画というのをちょっと示してくださいよということを申し上げたんですけれども、それ以後、何か変わってきたんでしょうか。

◎野崎隆太委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

現在伊勢市のほうで全体計画を策定はしてございません。先ほども申しましたように、三重県に併せまして、そちらに取りつく道路を中心に伊勢市のほうで行わせていただこうと現在考えておるところでございます。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

それは、私もこだわるわけではないんですけれども、やはり伊勢市はどこを無電柱化にしたいというようなことがあって県と国との協議をしておることがあれば、それはもうやはりまちづくりという点では協議がなされたということになるんだろうと思うんで

すけれど、やはりそこへ伊勢市の意見が全然反映されないということは、何かやりやすい無電柱化のところだけ工事しておるような気がして仕方ないんです。特に、この日程を見ると、非常に長時間、設計までの間協議が必要ですから、非常に時間の経過も多いと思うんですね。そういった点では、どの辺りがどういうふうにして何年ごろに無電柱化を目指すんやということが分かるような状況のことをやっぱり示してほしいと思うんです。そのあたりは、やはり我々も議会人として、あそこら辺が無電柱化になっておるけれども、この辺りは無電柱化はいつ来るんですかということをやっと聞かれると、全然お答えできない、どこか分からんけれども、国県が勝手にやるというわけにはいかんと思うので、そのあたりはやはり伊勢市としても無電柱化するのはどこの路線のどういうところやというようなこととか、そういう話をきちっと決めていただきたいと思うんやけれども、そういった考え方は無理なことなんでしょうか。

◎野崎隆太委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

岡本吹上線のほうの無電柱化のほうが現在令和12年度までという事業で進めさせていただいております。事業期間、長うございますもので、その事業期間の中で次の路線を行うという計画のほうは必要になってくると思われまますので、その中で計画を策定し、順序立ててできるようなことを検討していきたいと考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

新たに決めていただくということになろうと思うので、それ以上のことはと思うんですけれど、やはり伊勢市として独自に無電柱化にして、まちづくりとしてこの辺りをこうしていきたいというものが何にもないということは、やはりちょっと困った話だと思うんですよね。そういうデザインがあって、グラウンドデザインがあった上で、県がそれならここをやりましょうか、国がここを補助しましょうかということならよく分かるわけなんですけれど、そのあたりはやはりもう少し、事務的にも伊勢市の考え方というのを整理してほしいなど、こんなことを思います。よろしく願いをします。

集まれこどもたち公園整備事業については、いろいろと御質問あって、そのとおりだと思うんですけれども、私はクラウドファンディングという事業をあまりこういう事業の中でというのは好ましくないというのか、やはりきちっと予算立てをしてやる、こういうのはちょっと違う事業ではないかなというような気もします。そのあたりのことの考え方だけ、どれをクラウドファンディングにしてお金を寄附していただくんやというようなこととかというのは、どういう線引きというのか、そのあたりを聞かせてください。

◎野崎隆太委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

集まれこどもたち公園整備事業でございますけれども、こちらの事業につきましては通常の公園整備とは若干違うところがございます、インクルーシブな遊具を含む遊具の整備等を行っていくという事業でございますもので、福祉でございますとかそのいろいろな分野の関係がございます。その中で、全ての方が交流できる、遊べるという公園づくりを目指しておりますもので、公園整備以外の要素も多く含まれますので、こちらのほうをクラウドファンディングに上げさせていただいておるところでございます。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員
財政のほうはどんな考え方をしてみえるんですか、教えてください。

◎野崎隆太委員長
財政課長。

●太田財政課長
財政としましては、当然寄附金を頂けるといのは非常にありがたいというふうに思っています。ただ、明確な線引きというものはございませんけれども、やはり皆さんから共感をいただけるような、そういったものを選別する中でクラウドファンディングをさせていただければというふうに思っております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員
皆さんからの共感というのはどんな事業なんでしょう、教えてください。

◎野崎隆太委員長
財政課長。

●太田財政課長
今回、特にこういった集まれこどもたち公園整備事業ということで、いわゆる通常の公園整備ではないというような状況になっております。皆さんが集まる、インクルーシブ、そういった部分での、皆さんが御協力をいただきやすいような事業というふうに考えております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

クラウドファンディングで共感をもらえれば、それはありがたい話だと思うんですけど、結果的に今の状況を見てみると19万円ということが先ほどありました。それということは、やはり共感をするということについてはちょっとクエスチョンもついている人もみえるんじゃないかな、こんなことを思うし、やっぱり財政課としてはどの事業をどういうふうに進捗するということであれば、それなりのやっぱり予算もちゃんと吟味した中でやるべきで、極端なこと言ったら、もっとほかのもんもいっぱいやったらどうやという言い方にもなるかも分らんので、やっぱりそのあたりの線引きというのがちょっとどうかなというのを感じるので、やはりそれは庁内できちっと話してほしいと思うんです。以前、教育委員会の中でも何か、塾の何かクラウドファンディングが始まったというようなことも聞いたんですけども、それもいかがかなというような気もあります。やはり、一般的に、我々メディアしか見ていませんけれども、例えば2,000万円クラウドファンディングしたいんやと言うたら、もう1週間もたたんうちにそれをオーバーしてというような、やっぱりそれは、そういう事業ならクラウドファンディングで寄附を募ってもいいよということですね、裏返せば。そういう事業ということをしきと線引きをしてもらったほうがいいんじゃないかなと、こんなことを思います。よろしくお願いをしたいと思います。

住宅と空き家のリフォームのことで、これは先ほど吉井委員も言いましたけれども、要望が多いということがほとんど、去年の状況のときに分かっておるのに、今年も早う、早々もう予算を終わってしまっていて打ち切らないかんという、こういう事業というのは何のためにしておるんやという根本からを聞くと、何のためにしておるんですかね。

◎野崎隆太委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

これまでもこの事業、平成23年から行っておりますけれども、市内の住宅関連産業の活性化、それから市内の建物をリフォームしていただいて住んでいただくというところを事業の目的といたしておるところでございます。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

大分苦しい答弁やと思うんですけども、何のためというんやったら、やはり住宅、空き家というのを少なくしていく、できるだけ解体をしないと駄目やというような状況まで放っておくことを避ける話としては、早く利活用してもらおうということになるわけですよ

ね。それが、利活用していただきたいというのが、予算がないために1年以上待つということになったときに、相手は、そのリフォームをしてでもそこを借りたいという人は1年先分らないですね。やっぱり、そういう意味では即戦的な考え方というのは何も無い話なので、一旦予算決めて、全部使ったらもうやめとこうかという話は、正直何のためにやっておるのかなという気がしてならんのです。その相手方というのは1年待っておるんでしょうか。なかなか私は、今だから子供のこと、御夫婦の状況もあるか分からん、商売にしたいという人もおるか分からん、そういう話の中で、今だからそういうことをしていきたいというのに、予算がないで来年、できたらあんだ金あんのやったらもう自分でやるときなという話ですね。何かね、そのあたりがちょっとしっくりこやんというのか、どういう考え方でやっておるんやろうと。

伊勢市も今空き家の問題としてはどんどん増えておるということを認識しておるんですけど、私も4年ごとにやっておるのは、やっぱり1年である程度、どういう手法を使うかは別ですけども、1年1年どういう空き家になっておるかということを確認、早くしていかないと、これはリフォームに引かかるか引かかるへんかという話でもないと思うので、早くやはり活用していただけるような状況を知ってもらいたいと思うんやけれども、そのあたりはどのような視点を持ってみえるか教えてください。

◎野崎隆太委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

この事業につきましては、これまで2本に中身で分かれておる中で、私ども担当させてもらっております住宅リフォームにつきましては、現在御自身の住居の用に供する建物のリフォームというところで、役割としましては建物の寿命の延伸といいますか、そういった部分も一定担っておるというふうに考えております。他方、おっしゃられております空き家の部分につきましては、今回統合させていただいた空き家のリフォームについても対象とさせていただくということで今年度から新たに始めさせていただいたものでございます。空き家のほう、先ほど来報告させてもらっておりますとおり、まだ交付決定数も6件というところで、まだまだ周知等々も必要かというふうに考えておりますし、もちろんこれは移住定住にもつながってくることというふうにも理解もいたしておりますので、そういったことも踏まえまして、またちょっと事業全体のほうも引き続き考えていきたいというふうに考えております。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

スタンスの問題だとは思いますが、やはり私が申し上げたような考え方もあると思うので、やはりいろんな検討の中でしていただきたいなと思います。

現在と言っているのかどうかあれですけど、いつ現在で空き家というのがどれぐらい

件数あるのか教えてください。

◎野崎隆太委員長
住宅政策課長。

●城住宅政策課長
空き家の数としましては、昨年度末で2,458件でございます。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員
その件数というのは減ってはいないですよ。だんだん増えていると思うんですけども、どのような状況なんですか。

◎野崎隆太委員長
住宅政策課長。

●城住宅政策課長
令和3年度末が2,475件でしたので、若干ですけども数は減っておるというふうに認識をしております。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員
数は減っている。
だから、空き家としておる2,400件以上というのは、利活用についてはどのような状況になっておるのでしょうか。

◎野崎隆太委員長
住宅政策課長。

●城住宅政策課長
利活用というよりも管理の状態としまして、管理ができている家というのが、その2,458件のうち1,800件ほどあるというふうに認識をしております。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員

現在でいくと、650何件というのは管理的にはなかなか難しいような状況やというような捉え方でよろしいですか。

◎野崎隆太委員長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

その600件何がしのうち、危険度が大きいだろうと考えておりますのが130件ほどございます。ただ、この数字にしましても令和3年度が158件でしたので、約30件は減少しておるといふふうに考えております。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

住宅政策としては、そのあたりのことがこのリフォームの関係との連携でどのようにしていけばいいかということはどのように考えてみえるのでしょうか。

◎野崎隆太委員長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

先ほどの130件、危険度が大きいだろうというこの状態、こんな状態にならないように、なるべく早い段階で空き家を使っていただきたいというふうに考えております。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

やっぱりそうですよね。でも、片やリフォームしてとか、これどうでしょう、業界で言うたら宅建業界との連携も要るんだろと思うんですけど、それが今の状況だとなかなか前に進んでいかないように受け取れるんですけども、そのあたりは促進事業としてはどう考えてみえるのでしょうか。

◎野崎隆太委員長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

確かに実績のほうは少ないということがありますので、なかなか効果が大きいかと言

ますと、そうではないというふうに考えております。その辺につきましては、これからも業界のほう通じて周知のほうしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎野崎隆太委員長
宿委員。

○宿 典泰委員
ありがとうございます。

◎野崎隆太委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長
御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。
続いて、委員間の自由討議を行います。
御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長
御発言もないようですので、自由討議を終わります。
本件につきましては、今回の審査をもって調査を終了するという事で御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長
御異議なしと認めます。
本件については、調査を終了いたします。
以上で、御審査をいただきます案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時39分

開会 午前11時32分

◎野崎隆太委員長
先ほどの委員会の中で答弁の誤りがあったということで、当局から訂正の申入れが届いております。
そのため、急ではありますが、再度委員会を開会をさせていただきたいと思っております。
ただいまより産業建設委員会を開会いたします。

【答弁の訂正】

◎野崎隆太委員長

審査の事項は、先ほどの委員会の答弁の訂正でございます。

担当課より御説明があります。よろしくお願いします。

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

申し訳ございません。先ほど委員会の中の集まれこどもたち公園整備事業の吉井委員の御質問の中で、企業版ふるさと納税について、まだ寄附はございませんという御説明をさせていただきましたけれども、申し訳ございません。1社より御寄附をいただいております。訂正させていただきます。

今後も様々な機会を通じて企業様にPRしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎野崎隆太委員長

金額も説明していただいているですか。

●見並基盤整備課長

金額のほう、企業様のほうから非公表ということをお願いしておりますので、この場での答弁を差し控えさせていただきたいと思っております。

◎野崎隆太委員長

ただいまの発言の訂正に対しまして御発言はございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、再度これで審査を終了させていただきたいと思っております。

以上で産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時33分

上記署名する。

令和 5 年11月20日

委 員 長

委 員

委 員